



キャッシュレス決済導入 比較ポイントガイド

✓ 5 失敗しないための
5つのチェックポイント

Payossは1決済代行サービスです。

R決済集計

カード種別	件数	合計金額	構成比
カード集計 (件数: 15,120)		¥67,700,078	
クレジットカード (件数: 0)		¥0	
その他決済 (件数: 0)		¥0	
クレジットカード (件数: 9,266 件)		¥52,413,670	
カード	件数	合計金額	構成比
交通系IC	1,012	¥1,236,490	1.83%
ID	727	¥1,520,530	2.29%
QUIC Pay	612	¥1,327,080	1.96%
楽天Edy	115	¥177,640	0.26%
WAON	80	¥164,240	0.24%
nanaco	61	¥133,876	0.2%

決済売上集計
対象期間: 2...

キャッシュレス決済サービス

- ペイオス決済を選択してください

Payoss®

TERAOKA payment portal

キャッシュレス決済導入 比較ポイントガイド

キャッシュレス決済サービスが増える中、何を基準に
選べばよいか、お悩みの事業者の方も多いのではない
でしょうか？

継続率 99.5% 導入台数が 6 年間で 56,000 台以上の実
績を誇る「Payoss（ペイオス）」が、導入前にチェッ
クしておくべきポイントを 5 つご紹介いたします。

☑️ **キャッシュレス決済導入**

5 失敗しないための 5つのチェックポイント

CHECK ①

POSレジ連動



- ・セルフレジ対応
- ・2度打ち不要
- ・顧客情報の取扱

CHECK ②

機能・性能面



- ・決済処理スピード
- ・マルチ対応
- ・端末の操作性

CHECK ③

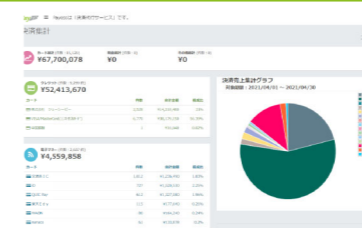
決済料率



- ・決済料率の違い
- ・利用ブランド
- ・支払いサイクル

CHECK ④

管理サイト



- ・使いやすい UI
- ・売上分析機能
- ・情報管理の安全性

CHECK ⑤

サポート内容



- ・対応時間
- ・オペレーター
- ・サポート拠点

✓ キャッシュレス決済導入 失敗しない選び方

CHECK

1

POSレジ連動

POSレジ連動

チェック不足 導入失敗事例

「セルフレジに対応できない・・・」

お客様と店員のタッチレス化推進のため、セミセルフレジやフルセルフレジの導入を検討するも、決済端末がPOSレジ連動でないと、そのようなレジに設置できないことも…。

「金額2度打ちで違算発生・・・」

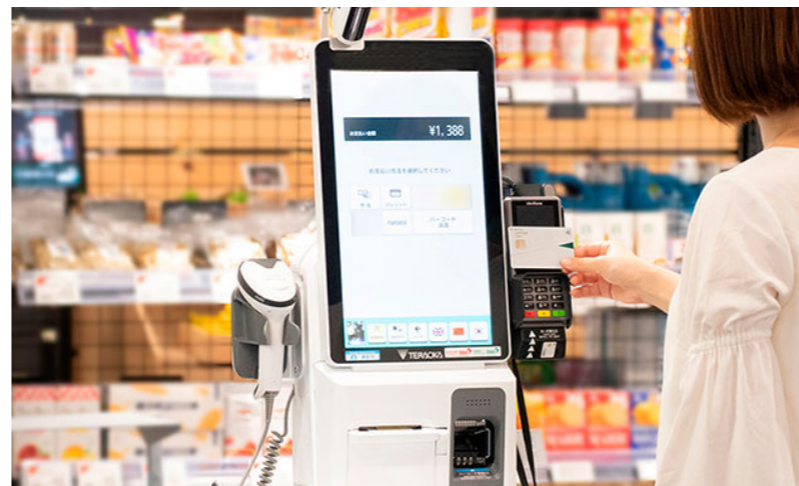
レジ連動していない場合、金額入力はレジと端末のそれぞれに打つことになります。時間がかかる上、違算発生の原因にもなってしまいます…。

「顧客情報が取得できない・・・」

改正割賦販売法で求められるカード情報の非保持化と会員カードによる売上・顧客情報取得の両立が対応していないため、顧客情報が取得出来ないといったケースも…。



なぜPOSレジ連動が重要か



POSレジ連動型の決済端末なら、会員カードから売上情報・顧客情報は取得しつつも、クレジット情報はお店に残さない、改正割賦販売法に対応した非保持方式が実現します。お客様と店員のタッチレス化、衛生的決済が求められる中、セミセルフレジやフルセルフレジにも設置が可能です。決済端末操作がPOSレジ側から操作可能なため、レジと端末、両方に金額を入力する必要がなくなり、違算発生の原因を減らせます。

POSレジ連動

✓ 重要チェックポイント



セルフレジ対応

POSレジ連動型なら、セミセルフレジやフルセルフレジに設置可能。衛生的な決済が求められる中、お客様と店員のタッチレス化を実現します。



2度打ち不要

POSレジ側から端末操作が可能のため、それぞれに金額を入力する手間がありません。2度打ちによる違算発生の原因も防ぐことができます。



顧客情報の取扱

改正割賦販売法に対応したカード情報は非保持でありながら、顧客情報・売上情報の取得。そうした両面対応がPOSレジ連動端末なら可能です。

✓ キャッシュレス決済導入 失敗しない選び方

CHECK 2

機能・性能面

機能・性能面

チェック不足 導入失敗事例

「レジ待ち列が解消されない・・・」

折角キャッシュレス決済を導入するのに、決済処理スピードをチェックしていなかったため、レジ待ち列が解消するどころか、かえって列が伸びてしまう結果に…。

「端末が他にも必要だった・・・」

様々な決済手段に1台でマルチ対応可能かどうかチェックしていなかったため、決済手段ごとに端末を準備することに…。結果レジまわりが複数の端末で雑然とする事態に…

「操作方法がわかりづらい・・・」

決済端末側の液晶表示が小さいために、トラブル時の対応や、設定など、細かい操作がわかりづらい…。お客様だけでなく、店員も操作がわからないといったことも…。



なぜ機能・性能面が重要か



決済端末の機能や性能面はキャッシュレス導入の際にチェックすべき重要ポイントです。決済処理スピードがレジ待ち列の解消や売上に直結します。1台でマルチ決済対応であれば、余計なコストもかからず、レジまわりがすっきりします。端末の操作性は、トラブル時にもスムーズな対応が取りやすくなります。また決済端末導入時のスタッフ研修も進めやすく、教育コスト削減と効果も期待できます。

機能・性能面

✓ 重要チェックポイント



決済処理スピード

決済スピードが遅いと、お客様の不満につながります。スピーディーな会計処理ならレジ待ち列も解消し、売上のタイミングを逃しません。



マルチ対応

決済手段ごとに、端末を準備すると費用負担が大きい上、レジ回りにも設置スペースが必要です。1台でマルチに対応出来る端末を選びましょう。



端末の操作性

液晶が大画面で、お客様もスタッフも操作しやすい決済端末なら、操作が簡単です。導入時のスタッフ教育コストの軽減にもつながります。

✓ キャッシュレス決済導入 失敗しない選び方

CHECK 3

決済料率

決済料率

チェック不足 導入失敗事例

「料率の違い、確認しておけば・・・」

決済代行業者により異なる決済料率の違い。はじめは小さな差でも、長期間で見れば、大きな金額の違いになっているといったことも…。

「使えるブランドが少ない・・・」

普段使っている決済ブランドの取り扱いがないだけで、お店を利用しないといったお客様も…。利用可能なブランドが多ければ、このような機会損失は無かったかも…。

「支払いが月に1回だけ・・・」

支払いサイクルが月に1回だけでは、キャッシュフローの圧迫や売掛金の回収リスクといった課題も…。支払いサイクルが複数回であれば、こんな心配は生まれなかったはず…。



なぜ決済料率が重要か



決済料率はブランドで一律のように思えますが、決済代行サービスを扱う企業ごとでも料率は細かく異なっています。ブランドとの直接契約よりも決済代行サービスを利用した方が、料率が抑えられるケースもあります。小さな料率の違いが、長い目で見ると、手数料金額の大きな違いになりますので、必ずチェックしましょう。決済代行サービスは、各ブランドとの契約業務が一本化され負担軽減となる点がメリット。利用可能ブランドや支払いサイクルなどはサービスごとに異なりますので、その点もチェックが必要です。

決済料率

✓ 重要チェックポイント



決済料率の違い

キャッシュレス決済金額に対して手数料を支払う際の掛け率が決済料率。決済代行サービスを利用する際は、事業者によって、料率が異なります。



利用ブランド

取り扱っている決済ブランドの種類にもチェックが必要です。また、日々進化するキャッシュレス決済方法への対応力も重要な点です。



支払いサイクル

締め日や振込日といった支払いサイクルは、決済代行事業者によって異なります。支払い回数も月1回から複数回まで様々です。

✓ キャッシュレス決済導入 失敗しない選び方

CHECK 4

管理サイト

管理サイト

チェック不足 導入失敗事例

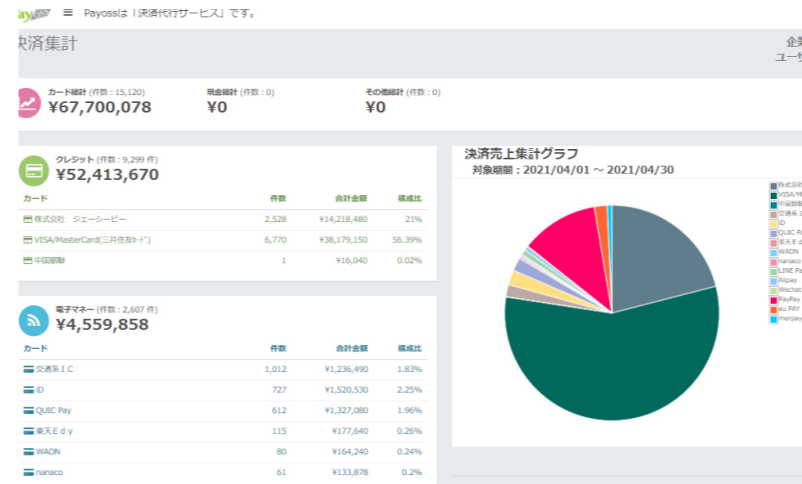
「見たい情報がすぐに見つからない・・・」
管理サイトが使いづらくて、見たい情報がすぐに出せない…。
日報などのレポート作成にも時間がかかり、業務効率化どころか、かえって業務負担になるといったことも…

「ブランドごとの推移がわからない・・・」
ブランドごとの売上推移や客単価の傾向が分析できない…。
そのような管理サイトでは、キャッシュレス決済の動向がつかめず、今後の経営方針に影響が出ることも…

「過去の取引明細が保存されてない・・・」
以前の取引明細参照も、何年も前のデータは管理サイトに残っていない…。データベース抽出は時間がかかる…。データの引き出しが不便では、日常業務に対応できません。



なぜ管理サイトが重要か



決済代行サービスを使うメリットに、各ブランドの決済状況をまとめる管理サイトが利用できる点があります。決済ブランドが増えるたび、集計報告内容の項目も増えますが、そうした事務作業負担を軽減できるのが管理サイトの魅力です。ブランドごとの決済金額推移など、今後の指針作成にも活かせるデータ表示もあります。さらにCSVデータなどの可変データダウンロードが可能かどうかで、ペーパーレス化も推進できます。その一方でデータ保存・保管が、クラウド上でいつまでなされるのかも大事な確認事項です。

管理サイト

✓ 重要チェックポイント



使いやすいUI

管理サイトは日々使うもの。一目で操作方法がわかる、使いやすいサイトであることが重要です。事務処理負担の軽減に直結します。



売上分析機能

店舗ごと決済ブランドごとなど、多様な種別でのデータ抽出機能。CSVダウンロードなど、データ加工可能かどうかなどの仕様もチェックです。



情報管理の安全性

カードの取引明細保存期間で定められている7年間のデータ保存があるか、明細出力が容易かなど、情報管理の詳細も確認ポイントです。

✓ キャッシュレス決済導入 失敗しない選び方

CHECK 5

サポート内容

サポート内容

チェック不足 導入失敗事例

「サポートセンターがやってない・・・」

トラブルや困りごとをすぐに相談したいサポートセンター。ですが、店舗の営業時間とサポートセンター対応時間が噛み合わず、対応が常に遅れてしまうといったケースも…。

「オペレーターがよくわかっていない・・・」

電話に出たオペレーターが状況をよくわからず、後日対応にまわされてしまうといったケースも…。その場である程度の手がかりだけでもつかみたいだけに…。

「来てほしいけど、近くにない・・・」

電話だけでは解決しないから、すぐにでも来てほしい…。そんなときに、近くに拠点がいないため、いつまでもサポートの手配がないといったケースも…。



なぜサポート内容が重要か



キャッシュレス決済導入にあたり、サポートセンターの稼働時間が自社の営業時間とマッチしているか。オペレーターは業界に精通しているか、など、万が一のトラブルに備えたサポート内容のチェックも重要です。すぐにでも解決したいトラブルにこたえてくれるサポートセンターの存在があれば、安心してキャッシュレス決済を導入することができます。サポート拠点が充実していれば、訪問が必要なトラブルにもスムーズな対応が可能。安心感がさらに高まります。

サポート内容

✓ 重要チェックポイント



対応時間

営業時間や稼働時間に、決済事業者のサポートセンターも稼働しているかは重要。万が一のトラブルの際、すぐに相談できます。



オペレーター

オペレーターが業界に精通しているかもチェック。スピーディーで的確な回答は、経験豊富なオペレーター陣かどうかポイントになります。



サポート拠点

サポート拠点の充実もポイント。拠点が近くにあれば、訪問が必要がトラブルにも、スムーズな対応が期待できます。

おわりに

- ① POSレジ連動
- ② 機能・性能面
- ③ 決済料率
- ④ 管理サイト
- ⑤ サポート内容

キャッシュレス決済導入には、この5つのポイントを事前に確認することで、システム導入後の失敗を避けやすくなります。企業や事業者ごとに、キャッシュレス決済の導入要件が異なることがほとんどです。自社の要件を整理するためにも、決済代行事業者資料からの情報収集や、実際にサービス概要について聞いてみるなど、出来るだけ導入後のイメージを具体的にすることが、導入失敗の回避につながります。

キャッシュレス導入には時間もお金もかかるため、失敗は避けたいもの。本資料がキャッシュレス導入のお役に立てれば幸いです。



TERAOKA payment portal

お問い合わせ

株式会社寺岡精工 ペイメントポータル事業部

■導入をご検討の方は

☎03-6773-2527 (平日 10:00-17:00)

■ご利用中のお客様は

☎050-3816-3055 (年中無休 09:00-18:00)

■Payoss ブランドサイト

payoss-service.com



ブランドカタログ配布中

